

## 🌸 第68回卒業証書授与式 🌸

令和4年3月1日に本校体育館で卒業証書授与式が挙行されました。感染症拡大防止の観点から、出席者を卒業生・職員・各家庭1名の保護者に限定し、式の時間も短縮して行われました。感染症対策を講じた上での音楽部による校歌合唱は、卒業生の一緒には歌えない悔しさや寂しさも感じられましたが、卒業生の3年間の思いと共に体育館に響き渡りました。



続いて、卒業生196名全員の名前が呼ばれ、卒業生の代表一名に片桐校長から卒業証書が授与されました。

その後、片桐校長の式辞があり、その中では、コロナ禍の中で大半の高校生活を送ってきた卒業生を、「自分を律し、他者を思い、高い志を持って、何事にも創意工夫をこらしながら何事にも全力で取り組んでくれました」と称賛し、「自分の置かれた状況が、たとえどんな状況で

あったとしても、今日という日を、自分自身のこれからの人生において、必ず意味のある日であり、二度と戻ってこない、かけがえのない日として大切にしてください」と励ましながら、卒業生の未来に向けて「日々是好日」という言葉が贈られました。

卒業生答辞では、代表の星川凜さんが、「友や先生方に会えず、目の前のことにただ取り組むことしかできなかった不安な日々」とコロナによる休校期間のことを振り返りました。打ち込んできた部活動の大会や公演が中止となったやるせなさに触れ、その経験を活かし、できる形を考えて合唱コンクールと校内総体、嚶鳴祭という西高三大行事を今年度は復活させたこと、そして、何よりも友との日常の尊さに気づかされたこと、コロナ禍での高校生活から学んだことと、これからも挑戦し続けようと未来を切り拓く強い意志を卒業生と共有しました。

閉式の後には、それぞれの教室で担任の先生から一人一人に卒業証書が手渡され、別れを惜しましました。

